

# 平成 27 年度埼玉県計画に関する 事後評価

令和 2 年 1 月  
埼玉県

### 3. 事業の実施状況

事業の区分	1. 医療機能の分化・連携に関する事業	
事業名	【No. 1】 ICTを活用した地域医療ネットワーク基盤の整備	【総事業費】 903,055 千円
事業の対象となる区域	県全域	
事業の実施主体	埼玉県、郡市医師会、医療機関	
事業の期間	平成 27 年 10 月～令和 3 年 3 月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	病床の機能分化・連携、在宅医療の推進、医療従事者の確保等、「効率的かつ質の高い医療提供体制の構築」を図る。	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に必要な多職種間の情報共有の効率化を図るため、地域の関係者間で医療・介護情報を入力・参照できる医療介護 ICT 連携システムの導入及び胎児の遠隔画像診断のネットワーク構築を支援。</li> <li>・地域の基幹病院と診療所が連携して医療資源を有効活用するため、医療連携ネットワークシステムの構築を支援。</li> </ul>	
アウトプット指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTによる在宅医療・介護連携システムの導入 30 か所 (H29 年度)</li> <li>・遠隔胎児診断支援システムに接続した産科医療機関数 22 か所</li> <li>・地域医療連携ネットワークシステムの整備・更新 (H30 年度～)</li> </ul>	
アウトプット指標 (達成状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTによる在宅医療・介護連携システムについては、県医師会・郡市医師会の意見・要望等を踏まえて、県内統一のシステムを決定し、システムの運用環境が整備された。(平成 28 年度末)</li> <li>・遠隔胎児診断支援システムに接続した産科医療機関数 22 か所 (H30 年度末)</li> <li>・地域医療連携ネットワークシステムが更新された (平成 29 年度)</li> </ul>	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性</p> <p>医療・介護連携ネットワークシステムを導入することで、地域での医療職と介護職との具体的な連携(顔の見える関係づくり等)が促進された。また、各拠点の横連携が促進され、地域での課題や困難事例の解決に役立つツールとなった。行政もネットワークに加わることで、より現場のニーズや声を施策に反映させることができた。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>ICTによるネットワークを活用することで効率的な連携体制を構築することができた。</p>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における医療と介護の多職種間の情報共有による効率化が図られる。</li> <li>・ランニングコスト等の通減化により、介護事業所等が参加しやすい環境を整備できる。</li> </ul>	

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【No. 15】 看護師等養成所における教育内容の向上を図るための体制整備	【総事業費】 624, 122 千円
事業の対象となる区域	県全域	
事業の実施主体	埼玉県、埼玉県看護協会	
事業の期間	平成 27 年 4 月～令和 2 年 3 月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	病床の機能分化・連携、在宅医療の推進、医療従事者の確保等、「効率的かつ質の高い医療提供体制の構築」を図る。	
事業の内容	看護師等養成所の教育内容の充実を図るため、養成所に対し、運営に必要な経費を補助する。	
アウトプット指標	看護師等養成所の教育内容を充実させることにより、看護師数の増加につなげる。 ・看護師等養成所への助成 49 校（平成 27 年度） ・看護師等養成所への助成 49 校（令和元年度）	
アウトプット指標（達成状況）	平成 27 年度においては、 ○看護師等養成所運営費の助成（45 校） の実施により、看護師等養成所における養成力の強化と教育内容の充実を図ることができた。	
事業の有効性・効率性	（1）事業の有効性 学校運営の安定により、看護基礎教育が充実し、臨床現場で即戦力となる看護職を育成した。 （2）事業の効率性 国家試験合格率および県内就業率を補助額に反映させることにより、県内に従事する看護職の増加を効率的に増加させた。	
その他		

# 平成 27 年度埼玉県計画に関する 事後評価

令和 2 年 1 月  
埼玉県

※ 本紙は、計画期間満了の翌年度まで、毎年度追記して国に提出するとともに、公表することに努めるものとする。

### 3. 事業の実施状況

事業の区分	3. 介護施設等の整備に関する事業																					
事業名	【NO.1】 埼玉県介護基盤緊急整備等特別対策事業 埼玉県施設開設準備経費等支援事業	【総事業費】 8,930,874 千円																				
事業の対象となる区域	南部、南西部、東部、さいたま、県央、川越比企、西部、利根、北部																					
事業の実施主体	埼玉県																					
事業の期間	平成 27 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了																					
背景にある医療・介護ニーズ	高齢者が住み慣れた地域において、安心して生活できる体制の構築を図る。 アウトカム指標：地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進																					
事業の内容(当初計画)	<p>①地域密着型サービス施設等の整備に対する助成を行う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">整備予定施設等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域密着型特別養護老人ホーム</td> <td style="text-align: right;">406 床 (14 施設)</td> </tr> <tr> <td>都市型軽費老人ホーム</td> <td style="text-align: right;">8 床 (1 施設)</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者グループホーム</td> <td style="text-align: right;">25 施設</td> </tr> <tr> <td>小規模多機能型居宅介護事業所</td> <td style="text-align: right;">33 施設</td> </tr> <tr> <td>定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所</td> <td style="text-align: right;">32 施設</td> </tr> <tr> <td>看護小規模多機能型居宅介護事業所</td> <td style="text-align: right;">8 施設</td> </tr> <tr> <td>認知症対応型デイサービスセンター</td> <td style="text-align: right;">8 施設</td> </tr> <tr> <td>地域包括支援センター</td> <td style="text-align: right;">6 施設</td> </tr> <tr> <td>施設内保育施設</td> <td style="text-align: right;">2 施設</td> </tr> </tbody> </table> <p>②介護施設の開設・設置に必要な準備経費に対して支援を行う。 ③介護施設の整備に必要な定期借地権設定のための一時金に対して支援を行う。 ④介護サービスの改善を図るための既存施設等の改修に対して支援を行う。</p>		整備予定施設等		地域密着型特別養護老人ホーム	406 床 (14 施設)	都市型軽費老人ホーム	8 床 (1 施設)	認知症高齢者グループホーム	25 施設	小規模多機能型居宅介護事業所	33 施設	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	32 施設	看護小規模多機能型居宅介護事業所	8 施設	認知症対応型デイサービスセンター	8 施設	地域包括支援センター	6 施設	施設内保育施設	2 施設
整備予定施設等																						
地域密着型特別養護老人ホーム	406 床 (14 施設)																					
都市型軽費老人ホーム	8 床 (1 施設)																					
認知症高齢者グループホーム	25 施設																					
小規模多機能型居宅介護事業所	33 施設																					
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	32 施設																					
看護小規模多機能型居宅介護事業所	8 施設																					
認知症対応型デイサービスセンター	8 施設																					
地域包括支援センター	6 施設																					
施設内保育施設	2 施設																					

アウトプット 指標(当初の目 標値)	地域密着型サービス施設等の整備数
	整備予定施設等
	地域密着型特別養護老人ホーム 406床(14施設)
	都市型軽費老人ホーム 8床(1施設)
	認知症高齢者グループホーム 25施設
	小規模多機能型居宅介護事業所 33施設
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 32施設
	看護小規模多機能型居宅介護事業所 8施設
	認知症対応型デイサービスセンター 8施設
	地域包括支援センター 6施設
施設内保育施設 2施設	
アウトプット 指標(達成値)	平成27年度
	整備施設等
	認知症高齢者グループホーム 2施設
	小規模多機能型居宅介護事業所 2施設
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 9施設
	看護小規模多機能型居宅介護事業所 1施設
	認知症対応型デイサービスセンター 3施設
	地域包括支援センター 4施設
	平成28年度
	整備施設等
	地域密着型特別養護老人ホーム 58床(2施設)
	認知症高齢者グループホーム 13施設
	小規模多機能型居宅介護事業所 11施設
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 10施設
	看護小規模多機能型居宅介護事業所 2施設
	認知症対応型デイサービスセンター 3施設
	地域包括支援センター 1施設
	平成29年度
	整備施設等
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 1施設	

	平成30年度															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">整備施設等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域密着型特別養護老人ホーム</td> <td>53床(2施設)</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者グループホーム</td> <td>5施設</td> </tr> <tr> <td>小規模多機能型居宅介護事業所</td> <td>4施設</td> </tr> <tr> <td>定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所</td> <td>2施設</td> </tr> <tr> <td>地域包括支援センター</td> <td>1施設</td> </tr> <tr> <td>施設内保育施設</td> <td>2施設</td> </tr> </tbody> </table>	整備施設等		地域密着型特別養護老人ホーム	53床(2施設)	認知症高齢者グループホーム	5施設	小規模多機能型居宅介護事業所	4施設	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	2施設	地域包括支援センター	1施設	施設内保育施設	2施設	
整備施設等																
地域密着型特別養護老人ホーム	53床(2施設)															
認知症高齢者グループホーム	5施設															
小規模多機能型居宅介護事業所	4施設															
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	2施設															
地域包括支援センター	1施設															
施設内保育施設	2施設															
	全体															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">整備施設等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域密着型特別養護老人ホーム</td> <td>111床(4施設)</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者グループホーム</td> <td>20施設</td> </tr> <tr> <td>小規模多機能型居宅介護事業所</td> <td>17施設</td> </tr> <tr> <td>定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所</td> <td>22施設</td> </tr> <tr> <td>看護小規模多機能型居宅介護事業所</td> <td>3施設</td> </tr> <tr> <td>認知症対応型デイサービスセンター</td> <td>6施設</td> </tr> <tr> <td>地域包括支援センター</td> <td>6施設</td> </tr> </tbody> </table>	整備施設等		地域密着型特別養護老人ホーム	111床(4施設)	認知症高齢者グループホーム	20施設	小規模多機能型居宅介護事業所	17施設	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	22施設	看護小規模多機能型居宅介護事業所	3施設	認知症対応型デイサービスセンター	6施設	地域包括支援センター
整備施設等																
地域密着型特別養護老人ホーム	111床(4施設)															
認知症高齢者グループホーム	20施設															
小規模多機能型居宅介護事業所	17施設															
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	22施設															
看護小規模多機能型居宅介護事業所	3施設															
認知症対応型デイサービスセンター	6施設															
地域包括支援センター	6施設															
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標:地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進															
	<p><b>(1) 事業の有効性</b>      県所管の広域型施設を中心に、施設の円滑な開所を促進し、介護サービス提供体制の整備が促進された。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b>      施設の許認可手続き等を所管する市町村担当者に対し、説明会を実施し、円滑な施設整備が図られた。</p>															
その他																





事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.3】 高齢者等介護職就労支援事業	【総事業費】 215,838 千円
事業の対象となる区域	全域	
事業の実施主体	埼玉県	
事業の期間	平成 27 年 10 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	元気なうちは社会に貢献したいと考える高齢者の力を有効活用することにより、不足する介護人材の確保を図るとともに、高齢者の健康維持、生きがいの確保を図る。	
	アウトカム指標：県内介護人材の増加	
事業の内容（当初計画）	介護の仕事の経験がない原則 60 歳以上の者（介護未経験高齢者）に対して、介護に関する入門的研修又は介護職員初任者研修及び職場体験研修を実施する。研修修了後は、就職先とのマッチングを実施して、介護職員としての就労を支援する。 あわせて、当該介護未経験高齢者を、1 年以上継続して雇用する労働者として雇い入れた介護事業所に対して、10 万円の準備金を支給する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修参加者数 900 人	
アウトプット指標（達成値）	研修参加者数 平成 28 年度 260 人（うち就労者 109 人） 平成 29 年度 257 人（うち就労者 128 人） 平成 30 年度 235 人（うち就労者 148 人）	
事業の有効性・効率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：900 人が介護事業所へ就労する。 観察できた → 指標：研修修了者のうち 385 人が介護事業所へ就労した。	
	<p><b>（1）事業の有効性</b> 本事業により県内の介護事業所への就労者数が 385 人増加した。</p> <p><b>（2）事業の効率性</b> 公募型企画提案に基づき委託業者を決定するなど、効率的な執行ができたと考えている。</p>	
その他	平成 27 年度事業開始	

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.4】 介護職員資格取得支援事業	【総事業費】 30,000 千円
事業の対象となる区域	全域	
事業の実施主体	埼玉県	
事業の期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	介護現場で働く介護職員の介護福祉士資格取得を支援し、資格取得のよって介護職員の給与改善を図る アウトカム指標：県内介護人材の定着	
事業の内容（当初計画）	介護現場で働く介護職員の介護福祉士国家試験合格を支援するため、介護事業所が合格者に対する給与改善を行うことを条件に、実務者研修受講費用の一部を補助する。 ＜補助額＞実務者研修受講費用の 1 / 2（上限 10 万円） ＜補助対象者＞ 実務者研修受講費用を負担した介護事業所又は介護職員 ＜補助条件＞ 合格者に対して給与改善が図られること（資格手当等を支給） ＜スケジュール＞ 申請受付：12 月、交付決定：3 月	
アウトプット指標（当初の目標値）	補助対象人数 100 人（平成 28 年度） 補助対象人数 100 人（平成 29 年度） 補助対象人数 300 人（平成 30 年度）	
アウトプット指標（達成値）	補助対象人数 231 人（平成 28 年度） 補助対象人数 175 人（平成 29 年度） 補助対象人数 224 人（平成 30 年度）	
事業の有効性・効率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：給与改善を図られた介護職員の増加 630 人の介護職員について給与改善が図られた  <b>（1）事業の有効性</b> 資格取得補助により、給与改善が図られた介護職員が増加した。 <b>（2）事業の効率性</b> 資格取得支援事業により、給与改善が図られ、介護職員の定着が図られた。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.5】 介護職員資格取得支援事業（代替職員）	【総事業費】 157,248 千円
事業の対象となる区域	全域	
事業の実施主体	介護事業所	
事業の期間	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	介護現場で働く介護職員の介護福祉士資格取得を支援し、資格取得によって介護職員の給与改善を図る	
	アウトカム指標：県内介護人材の定着	
事業の内容（当初計画）	介護現場で働く介護職員の介護福祉士国家試験合格を支援するため、実務者研修受講中の代替職員人件費を補助する。 <補助額> 日額 8,190 円 （上限）①実務者研修の受講時間が 450 時間の場合 ：80 日分×20 人 ②実務者研修の受講時間が 320 時間の場合 ：60 日分×80 人 <補助対象者>介護事業所	
アウトプット指標（当初の目標値）	補助対象人数 100 人（平成 28 年度） 補助対象人数 100 人（平成 29 年度） 補助対象人数 100 人（平成 30 年度）	
アウトプット指標（達成値）	補助対象人数 2 人（平成 28 年度） 補助対象人数 3 人（平成 29 年度） 補助対象人数 1 人（平成 30 年度）	
事業の有効性・効率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：給与改善が図られた介護職員の増加。 6 人の介護職員について、実務者研修の受講を可能とし、給与改善が図られた。	
	<p>（1）事業の有効性</p> 代替職員人件費補助により、実務者研修の受講が可能となった。	
	<p>（2）事業の効率性</p> 資格取得支援事業により、給与改善が図られ、介護職員の定着が図られた。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.6】 介護人材バンク事業（代替職員）	【総事業費】 6,144 千円
事業の対象となる区域	全域	
事業の実施主体	埼玉県	
事業の期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	介護現場で働く介護職員の休暇取得及び研修受講を促進する	
	アウトカム指標：県内介護人材の定着	
事業の内容（当初計画）	介護職員の研修受講を支援するため、研修受講中の代替職員人件費を補助する。 <補助額> 日額 8,190 円（上限 25 日分）×10 人 <補助対象者> 介護事業所 <補助条件> 介護人材バンク事業においてマッチングが成立した職員の人件費であること。	
アウトプット指標（当初の目標値）	補助対象人数 10 人（平成 28 年度） 補助対象人数 10 人（平成 29 年度） 補助対象人数 10 人（平成 30 年度）	
アウトプット指標（達成値）	補助対象人数 0 人（平成 28 年度） 補助対象人数 0 人（平成 29 年度） 補助対象人数 0 人（平成 30 年度）	
事業の有効性・効率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：介護職員がキャリアアップするための研修受講の機会を確保。短時間の子育て支援休暇の取得。	
	<p>（1）事業の有効性 介護職員の研修受講を促進する。</p> <p>（2）事業の効率性 介護人材バンク事業（代替職員）事業により、介護職員の研修受講を支援する制度が構築された。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.7】 介護職員子育て支援事業	【総事業費】 57,100 千円
事業の対象となる区域	全域	
事業の実施主体	介護事業所	
事業の期間	平成27年10月1日～平成31年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	介護人材の主な離職事由である「結婚、出産・育児」に対応するため、介護職員が子育てをしながら働き続ける環境整備を図る。	
	アウトカム指標：子育てをしながら働く介護職員の負担軽減	
事業の内容（当初計画）	子育てをしながら働く介護職員のため、事業所内に保育施設を設置した場合に運営に係る経費を補助する（開設から36か月まで）。 <補助額> 1～12月目 250千円      13～24月目 187.5千円 25～36月目 125千円	
アウトプット指標（当初の目標値）	対象事業所数：8事業所	
アウトプット指標（達成値）	平成27年度は、事業所内保育施設の補助事業実施に向けた情報収集や事業内容の検討を行い、事業実施体制を整えた。 平成28年度は、本補助事業の対象となる施設の整備を促進するために、事業所内保育施設の整備に対する補助事業を行った。（対象1施設、本補助事業実績なし） 平成29年度は、2施設への運営費補助を実施した。 平成30年度は、3施設への運営費補助を実施した。	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：子育てをしながら働く介護職員の負担軽減	
	<p><b>（1）事業の有効性</b></p> <p>認可外の事業所内保育施設設置を検討している事業者にとって、運営費への一定期間の補助は介護職員が子育てをしながら働き続ける環境整備への大きな誘因となる。</p> <p><b>（2）事業の効率性</b></p> <p>施設整備に対する補助を受けた事業所内保育施設を本補助事業の対象とすることで、効率的に事業の進行管理を行うことが出来るとともにモデル的な効果が期待される。</p>	
その他		